

# 読書の効能

校長 北 洋昭

先日の川上フェスタではビブリオバトルへの参加と投票に御協力を頂きありがとうございました。子どもたちが自分の好きな本について熱心に語る姿に、感心された方も多いかと思います。

さて、読書の効能は簡単に挙げるだけでも次のものがあります。

- 知っている言葉が増え、表現する力も育つ。
- 想像力が高まり、感受性が豊かになる。
- 集中力が身に付く。
- 興味・関心の幅が広がる。
- 紹介し合うことでコミュニケーション力が育つ。

また、読書は学力とも深い関係があり、特に国語については、漢字や長文への抵抗が低くなったり、分かりやすく表現できるようになります。算数など他の教科でも、文章を読んで要点を理解するために読書で身に付けた力は大きな助けになります。

本校では「川上ブランド」の一つとして読書指導の充実を図っています。読み聞かせボランティアの「お話カンガルー」に地域・保護者の方に参加していただきたり、家読カードなどを使って、家庭での親子読書の取組をお願いしたりしているのもその一環です。また、今年度から県教育委員会の研究指定を受けて「本に親しみ、自ら学びに生かす児童の育成」をテーマに先生方が読書指導の研究に取り組んでいます。

読書は人それぞれ好みやスタイルがあります。私は、小説、教育書、漫画などジャンルを問わず興味をもった本を多いときは週に3～4冊読むこともありますが、1カ月くらいほとんど読まないこともあります。お子さんが同じ系統の本をずっと読み続けたり、文章の多い本をなかなか読もうとなかったりして心配されている御家庭もあるでしょう。

しかし、いずれにしても、「本を読むのは楽しい」という気持ちをもって読書を続ければ、自然と多様な力が身に付き、人生を豊かなものにしてくれます。御家庭でもそれぞれのスタイルで楽しい読書に取り組んでください。



## 充実した男女共同参画学びの広場

10月21日（月）、オフィスピュアの高崎恵さんを講師にお招きし、小学生、教職員、保護者・地域向けの3部構成で「男女共同参画社会」について学びました。



【ワークショップ型の学習で楽しく学ぶことができました。】

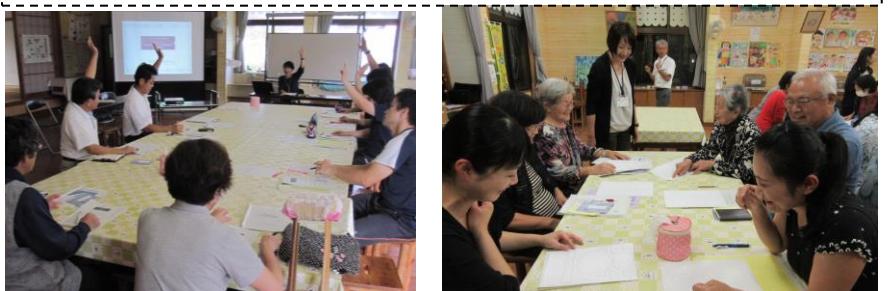
### 1ねん K・H

ぼくはじぶんなまえをひだり手でかきました。「はじめて」ってむずかしいことなんだとおもいました。めぐみさんはなしをきいて、みんなでえをかいたとき、みんなちがうえでした。みんなちがいがあることがはじめてわかりました。ぼくは、みんなをたいせつにするはなしをまもりたいです。

### 川上小職員 A 先生

先生のワークショップを通して、普段の生活では気が付かない自分と他人の違いを実感することができました。「You」から「I」メッセージへのお話では、親しい相手への言葉掛けは You メッセージが多いこと、特にその言葉遣いが子どもたちへの影響が強いことに驚きました。

日本語では主語を省略し、お互いに「分かるだろう。」という習慣の上で発言することもよくあり、気を付けたいと思いました。言葉に責任をもつこと、周りの人々への配慮、マナーへの意識を身に付けていきたいと思います。



【「この話を30年前に聞いたかった！」とは地域の方の感想でした。】

保護者 Bさん

子どもたちが帰って来るなり、「お母さん！お母さん！」とワークショップがとても楽しかったことを教えてくれました。でも、内容は絶対に教えてもらえないませんでした。今夜ワークショップに自分自身が参加してみて、子どもたちの楽しかった気持ちと同じ気持ちになったと思っています。

地域の方も一緒にワークショップを受けることは、初めてで私より年齢が上の方の反応や話などとても新鮮な感じでした。皆さんのうなづきは、私も「なるほど。」「そうだよな。」と同じうなづきだったと思います。川の中にも確認しやすい関係性を保護者も地域も一緒になって増やしていくたらすごくいいなと思います。子どもたちのこれからが、少しでもよりよいものになるよう、親として、地域の一員として、「共に感じる」ことを大切にしていきたいと感じました。



地域住民 Cさん

いろいろな活動を通して、人の考え方には違いがあるということをまじまじと考えさせられたワークショップだった。

発表にても勇気をもって話したいという気持ちになった。人はいろいろな考え方があることは分かっていても反論したくなる事もある。しかし、相手のことを尊重して接していく事の大切さを改めて感じさせられた。なかなか楽しい時間となりました。

地域住民 Dさん

77歳、健康、高齢者のために自分はどうに生きるか等機会あるごとに各種会合に出席しているが、今回の高崎恵氏の講演はすばらしかった。子や孫、地域住民のために少しでもためになるように努力したい。地域の為に活動できる青年層にも聞いてもらいたいと思いました。



## 『12月の主な行事予定』

- 3日(火) P T A役員会  
 4日(水) 校内持久走大会、学級P T A・家庭教育学級  
 7日(土) 子ども会大会  
 8日(日) ふれあいフェスタ(みどりの募金活動)  
 12日(木) 市来中校区合同避難訓練  
 14日(土) 市P T A活動研究大会  
 22日(日) イルミネーション点灯式  
 チルドレンフェスティバル  
 終業式  
 25日(水) 市ビブリオバトル大会  
 26日(木) 門松づくり



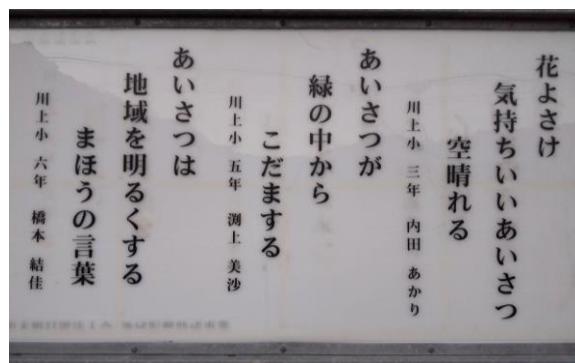
## 『おいしいおもちができました』

子どもたちが田植え、稻刈り、脱穀したお米でもちつき体験を行いました。子どもたちは、「川上小の田んぼでできたお米」「そのお米からできたおもち」に感動し、川上の美しい田んぼでの農業体験により豊かな感性を育んでいます。このダイナミックな学習ができるのは、地域の皆様の御協力あってこそです。ありがとうございました。



## あいさつが響く川上に～標語看板の設置～

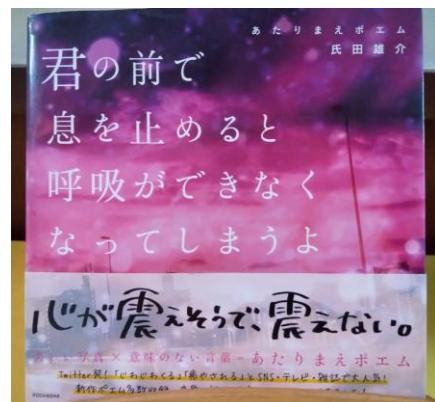
11月4日(月)に、市来愛友会(会長兼本田建設社長の本田和幸様)が、校門横の標語看板の標語内容を今年度の特選作品に書き換えてくださいました。学校の正門横にあるこの看板をご覧いただき、川上のよさを改めて感じ、あいさつの響く明るい川上のまちづくりに協力いただければ幸いです。



愛友会の皆様、本当にありがとうございました。

## 川上フェスタ大盛況

9日(土)に実施しました道徳の授業参観、川上フェスタには、来賓の方をはじめ、たくさんの地域の方や保護者の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。今年度も、ビブリオバトルを実施し、皆様の投票で、チャンプ本を決めました。たくさんの人々の前で、原稿を見ることなく、自分の思いや考えを3分きつかりで、全児童が発表する機会をもつてることは、本校の大きな特色ある学びになっています。



【下学年の部チャンプ本】

紹介者 3年 U・A 紹介者 5年 U・Y



【3年生の授業参観 役割演技に地域の相原さんが協力!】



【1・2年生「ともだちとたすけあって】

【5・6年生「流行おくれ】



【「四角い物が好きな王様」職員の新たな一面がキラリ!】

## 市来小の友達と一緒に

11月13日(水)に市来小学校と今年2回目の交流学習を行いました。どの学年の友達も温かく迎えてくれて、すぐになじんだようです。1年生は、どんぐりやまつぼっくりを使ったマラカスやけん玉づくりを行いました。5年生はバスケットボールを楽しみました。バスから降りるなり「もっと一緒に勉強したかったなあ。」とつぶやく子どもたちでした。



【普段経験できない大人数での学習に緊張しながらも大満足】

## 市音楽発表会での見事な合奏唱

11月6日(水)に、市音楽発表会がありました。10月から学校応援団の田中先生には、子どもたちの合奏や合唱の指導をしていただき、本番ではピアノの伴奏をしていただきました。



田中先生の御指導あって、子どもたちはたくさんの人の前でも素晴らしい発表をすることができました。本当にありがとうございました。

